



平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年7月31日

上場会社名 石塚硝子株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 5204 URL <http://www.ishizuka.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 石塚 久継
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 財務部長 (氏名) 畔柳 博史 (TEL) 0587-37-3146
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月1日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年3月21日～平成30年6月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	18,989	1.8	860	△1.7	744	7.7	571	20.0
30年3月期第1四半期	18,662	△1.6	875	10.3	691	174.9	476	579.9

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 980百万円(59.3%) 30年3月期第1四半期 615百万円(33.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	163.37	—
30年3月期第1四半期	135.99	—

(注) 平成29年9月21日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第1四半期	79,502	25,948	29.1	6,611.90
30年3月期	81,595	25,150	27.4	6,391.64

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 23,119百万円 30年3月期 22,350百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	—	—	45.00	45.00
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	45.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年3月21日～平成31年3月20日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	37,100	0.1	1,100	△37.9	900	△42.3	600	△59.7	171.52
通期	71,700	1.0	2,200	△14.8	1,800	△10.0	1,000	△40.0	285.87

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 平成31年3月期において、連結子会社である鳴海製陶(株)及び三重ナルミ(株)の決算期を2月末から12月末に変更する予定であります(10か月の変則決算)。業績予想数値は当該影響を織り込んでいます。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期1Q	3,629,554株	30年3月期	3,629,554株
② 期末自己株式数	31年3月期1Q	132,885株	30年3月期	132,787株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期1Q	3,496,698株	30年3月期1Q	3,500,842株

(注) 平成29年9月21日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、30年3月期1Qの期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境及び個人所得の改善が続き、設備投資も増加傾向にあるなど緩やかな回復基調で推移しました。一方、先行きにつきましては、米国を発端とする貿易摩擦や原油価格の上昇による価格変動リスクなど依然として不透明な状況が見込まれます。

このような状況のなか、当社グループは、当期を最終年度とする中期経営計画(第82期～第84期)『Next Stage ISHIZUKA 84』において、「グループ総合力の結集」をコンセプトとし、営業利益の安定的確保・有利子負債の削減・グループを横断した機能強化に向け取り組んでおります。

売上高につきましては、PETボトル用プリフォームが順調に出荷を伸ばしたほか、抗菌剤も国内及び海外での販売が好調であったことなどにより、グループ全体の売上高は18,989百万円(前年同四半期比1.8%増)となりました。利益につきましては、売上高は増加しましたが、原燃料価格が上昇したことなどにより営業利益は860百万円(前年同四半期比1.7%減)となりました。なお、受取配当金の増加などにより、経常利益は744百万円(前年同四半期比7.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は571百万円(前年同四半期比20.0%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

ガラスびん関連

ガラスびんは、業務用ビール値上げ前の受注増加の反動により、ビールびんの出荷が大きく減少したことに加え、焼酎びんや清酒びんの需要も落ち込んだことなどにより出荷が伸び悩み、売上高は4,258百万円(前年同四半期比7.2%減)となりました。

ハウスウェア関連

ガラス食器は、企業向けの景品受注が減少しましたが、アルコールメーカー向けの業務用品及び貯蔵びんの販売が好調に推移しました。陶磁器は、国内の百貨店及び法人向けの受注が減少しましたが、海外のホテル・レストラン向け及びエアライン向けの受注が増加し、セグメント全体の売上高は4,091百万円(前年同四半期比0.6%増)となりました。

紙容器関連

紙容器は、主要ユーザーからの受注が落ち込んだことに加え、一部ユーザーにおける新形状容器への移行などにより出荷が伸び悩み、売上高は1,881百万円(前年同四半期比6.1%減)となりました。

プラスチック容器関連

プラスチック容器は、前期の7月度に立ち上げた新ラインが順調に稼働し需要の増加に対応できたことに加え、主要ユーザーへの販売が好調であったことなどにより、売上高は7,259百万円(前年同四半期比10.7%増)となりました。

産業器材関連

産業器材は、IHクッキングヒーター用トッププレートの受注が減少したことにより、売上高は407百万円(前年同四半期比8.1%減)となりました。

その他

抗菌剤は、国内及び海外での販売が順調に拡大しました。一方、金属キャップは医薬品向けの出荷が伸び悩みましたが、セグメント全体の売上高は1,091百万円(前年同四半期比9.1%増)となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期第2四半期及び通期の業績予想につきましては、平成30年4月25日公表の「平成30年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,724	4,012
受取手形及び売掛金	11,875	12,441
商品及び製品	10,987	10,715
仕掛品	798	823
原材料及び貯蔵品	4,348	4,822
その他	1,498	1,445
貸倒引当金	△9	△2
流動資産合計	36,222	34,258
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,553	7,412
機械装置及び運搬具(純額)	8,022	7,683
土地	15,784	15,784
その他(純額)	5,249	5,422
有形固定資産合計	36,610	36,302
無形固定資産	181	161
投資その他の資産		
投資有価証券	7,605	7,800
その他	912	888
貸倒引当金	△25	△33
投資その他の資産合計	8,491	8,655
固定資産合計	45,283	45,119
繰延資産	89	124
資産合計	81,595	79,502

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,192	7,388
短期借入金	14,358	10,150
1年内償還予定の社債	805	805
未払法人税等	248	187
賞与引当金	728	327
その他	5,455	5,851
流動負債合計	27,789	24,711
固定負債		
社債	3,554	4,913
長期借入金	10,113	9,413
役員退職慰労引当金	66	67
汚染負荷量引当金	516	510
退職給付に係る負債	5,924	5,835
その他	8,479	8,101
固定負債合計	28,655	28,842
負債合計	56,445	53,553
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,911	5,911
資本剰余金	4,149	4,149
利益剰余金	5,018	5,432
自己株式	△298	△298
株主資本合計	14,781	15,194
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,771	2,891
繰延ヘッジ損益	△155	45
土地再評価差額金	5,338	5,338
為替換算調整勘定	151	155
退職給付に係る調整累計額	△537	△505
その他の包括利益累計額合計	7,569	7,924
非支配株主持分	2,800	2,829
純資産合計	25,150	25,948
負債純資産合計	81,595	79,502

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年3月21日 至平成29年6月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年3月21日 至平成30年6月20日)
売上高	18,662	18,989
売上原価	14,741	15,116
売上総利益	3,920	3,873
販売費及び一般管理費	3,045	3,012
営業利益	875	860
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	50	122
受取賃貸料	41	39
その他	45	25
営業外収益合計	138	188
営業外費用		
支払利息	115	97
為替差損	103	68
解約損	—	67
その他	104	70
営業外費用合計	322	304
経常利益	691	744
特別利益		
関係会社整理益	54	64
特別利益合計	54	64
税金等調整前四半期純利益	745	808
法人税、住民税及び事業税	191	143
法人税等調整額	31	48
法人税等合計	222	191
四半期純利益	522	617
非支配株主に帰属する四半期純利益	46	46
親会社株主に帰属する四半期純利益	476	571

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年3月21日 至平成29年6月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年3月21日 至平成30年6月20日)
四半期純利益	522	617
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	90	114
繰延ヘッジ損益	△51	213
為替換算調整勘定	19	3
退職給付に係る調整額	34	31
その他の包括利益合計	92	362
四半期包括利益	615	980
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	586	927
非支配株主に係る四半期包括利益	29	52

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成29年3月21日 至 平成29年6月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	ガラス びん 関連	ハウス ウェア 関連	紙容器 関連	プラス チック 容器 関連	産 器 材 関 連	業 材 関 連				
売上高										
外部顧客への売上高	4,589	4,068	2,003	6,556	443	17,661	1,000	18,662	—	18,662
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	5	—	157	—	163	1,466	1,629	△1,629	—
計	4,589	4,074	2,003	6,714	443	17,825	2,466	20,292	△1,629	18,662
セグメント利益	6	217	80	482	16	803	72	875	△0	875

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社及び子会社の一部の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△0百万円には、たな卸資産の調整額△0百万円、その他△0百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成30年3月21日 至 平成30年6月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	ガラス びん 関連	ハウス ウェア 関連	紙容器 関連	プラス チック 容器 関連	産 器 材 関 連	業 材 関 連				
売上高										
外部顧客への売上高	4,258	4,091	1,881	7,259	407	17,898	1,091	18,989	—	18,989
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	5	—	152	—	157	1,486	1,644	△1,644	—
計	4,258	4,097	1,881	7,411	407	18,056	2,577	20,634	△1,644	18,989
セグメント利益	15	171	47	532	24	790	69	859	0	860

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社及び子会社の一部の事業を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額0百万円には、たな卸資産の調整額0百万円、その他△0百万円が含まれておりません。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。